

## 平成 25 年度 長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン 離島・僻地病院実習

実習生：林田 咲歯科医師、船原まどか歯科衛生士

実習先：国民健康保険平戸市民病院

実習期間：平成 25 年 11 月 5 日（火）～11 月 28 日（木）

実習生感想：

### 【林田 咲歯科医師】

平戸は初めて訪れましたが、歴史や美しい景色など興味惹かれる場所でした。実習は、主に訪問看護に同行させてもらい、歯科訪問診療とは異なる医科の立場での在宅医療を体験しました。同時に口腔内診察・評価を行い、多くのデータを集積することが出来ました。さらに出前講座などにも参加させて頂き、平戸市民病院と地域との密着力も実感しました。今回の離島・僻地病院実習での貴重な経験を通じて、地域医療における歯科医師としての役割を改めて考えました。

### 【船原 まどか歯科衛生士】

実習では主に訪問看護同行にて平戸の美しい風景を楽しみながら島内を巡り、訪問先では訪問看護や診療の見学、口腔内の問診、口腔ケア、口腔衛生指導にあたり、大学内の研究や授業だけではなかなか機会のない貴重な経験が出来ました。また実習を通して、病院が地域の保健・介護・福祉を支え市民の健康を守る、といった役割を担い、地域に働きかけている姿は、今後自分はどんな歯科衛生士を目指すべきか、何が成せるだろうかと考えさせられ、大学院生としてこのような経験ができたことをとても幸運に感じました。

### 「実習先の平戸市民病院」

平戸市民病院は、地域の保健・介護・福祉を支え、市民の健康を守る全人的医療(地域包括医療・ケア)を実践。



「林田咲歯科医師、船原まどか歯科衛生士」  
訪問看護用の車の前にて。

今回は歯科医師・歯科衛生士の2人で活動したので、より細かく、患者さんの環境や口腔内、食事状況などを確認出来ました。訪問用の車で、看護師さん1～2人+私たち2人で訪問に行きました。

### 「平戸市民病院でのミーティングの様子」

当直の報告や一日のスケジュール、報告事項などを医局スタッフ全員集まって行う毎朝のミーティング。緊張感の中にも和やかに話し合いが進みます。



### 「在宅医療訪問先の地域の風景」

訪問看護の目は島内を網羅。

山を越え、片道30分くらいかかることもあります。海や山を見ながら、看護師さんとお話しながらの移動は楽しくてあっという間です。車が入れないお宅へはもちろん歩いて向かいます。今回私たちが訪問看護に同行するときは、幸い天気にも恵まれて、ほとんどいつも晴れていました。

### 「在宅医療訪問先での様子」

訪問看護同行先のお宅にて。口の中で汚れているところ、入れ歯で汚れているところを患者さんと一緒に確認して、歯磨きや入れ歯の磨き方などを指導します。口の中の状態や入れ歯の使用状況の確認のほか、患者さんと家族に簡単な問診を行って、食事の際の嚥下の状態などを確認します。



### 「実習終了後オリエンテーション」

芦澤和人がんプロコーディネーターへの報告の様子」報告が終わるまでが実習。実習についての報告と共に平戸市民病院の活動や平戸の自然、食べ物について、などなど話は尽きませんでした。平戸市民病院での実習は貴重な経験が出来ただけではなく、実習を終えて新たな目標や展望についても深く考えさせられ、本当に充実した一か月となりました。私たちの今回の報告結果が、今後のより充実した歯科の離島・僻地病院実習のお役に立てればと思います。